

令和5年度

劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業

(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人三重県文化振興事業団	
施 設 名	三重県総合文化センター 三重県文化会館	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	21,673	(千円)
	公 演 事 業	19,493 (千円)
	人 材 養 成 事 業	0 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	2,180 (千円)

1. 事業概要

(1) 令和5年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	三重県文化会館セレクションシリーズ	4月～12月	出演者：高木綾子、ワーヘリ、ベルリン・フィル八重奏団	目標値	1,628
		大ホール		実績値	1,582
2	ヘンゼルとグレーテル スライドコンサート	3月10日	出演者：指揮/櫛田誠、管弦楽/三重フィルハーモニー交響楽団 ほか	目標値	1,143
		大ホール		実績値	1,325
3	横山奏指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団	8月19日	出演者：ヴァイオリン/HIMARI 曲目：ストラヴィンスキー/バレエ組協「火の鳥」 ほか	目標値	723
		大ホール		実績値	969
4	藤岡幸夫指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団	2月10日	出演者：ピアノ/小林愛実 曲目：ショパン/ピアノ協奏曲第1番 木短調 op. 11 ほか	目標値	723
		大ホール		実績値	1,646
5	オンステージコンサートシリーズ	7月～3月	出演者：ピアノ/尾城杏奈、オーボエ/古部賢一&ピアノ/兼重稔宏、ピアノ三重奏/葵トリオ	目標値	360
		大ホール舞台上		実績値	513
6	ウィーン少年合唱団	6月2日	曲目：「美しき青きドナウ」 ほか	目標値	1,000
		大ホール		実績値	726
7	キーウ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」	8月26日	出演：長澤美絵、タラス・コフシュン ほか	目標値	680
		大ホール		実績値	1,174
8	黒田卓也カルテット with TSUKAMOTO SISTERS	9月23日	曲目：「ABC」 ほか	目標値	768
		中ホール		実績値	507
9	青年団プロデュース公演 「馬留徳三郎の一日」	12月23日・24日	作：高山さなえ 演出：平田オリザ 出演：田村勝彦 ほか	目標値	212
		小ホール		実績値	264
10	地域公共劇場連携事業「りすん」クリエイションツアー	9月17日・18日	原作：諏訪哲史 脚色・演出：天野天街 出演：加藤玲那 ほか	目標値	360
		小ホール		実績値	297
11	老いのプレーパーク岡山・三重2都市ツアー	3月9日・10日	作・演出：菅原直樹 出演：三重・岡山老いのプレーパークメンバー	目標値	240
		小ホール		実績値	329
12	ハイバイ「再生」	7月1日・2日	演出：岩井秀人 原案：多田淳之介 出演：日下七海 ほか	目標値	240
		小ホール		実績値	332
13	朗読アウトリーチ MPAD2023	11月15日～24日	出演者：林英世 ほか 演目：「芋虫」 ほか	目標値	288
		県内各地		実績値	410

14	第七劇場「三人姉妹」	10月7日・8日 小ホール	構成・演出・美術：鳴海康平 出演：木母千尋 ほか	目標値	360
				実績値	279
15	FUKAIPRODUCE 羽衣「女装、男装、冬支度」	8月19日・20日 小ホール	作・演出・音楽・美術：糸井幸之介 出演：深井順子 ほか	目標値	240
				実績値	206

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和5年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	新日本フィル29市町巡回事業 in 四日市	6月～9月	出演：新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,000
		四日市市内各地		実績値	855
2	松井周の標本室×三重県文化会館「なりかわり標本会議」	6月～2月	ファシリテーター：松井周、綿貫美紀	目標値	105
		県内各地		実績値	222

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
<p>ミッション（社会的役割等）・ビジョンや地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p> <p>三重県文化会館が掲げる5つの社会的役割（ミッション）、①地域の文化拠点、②社会包摂の機能推進、③新しい広場、世界の窓としての劇場、④劇場を活性化する人材養成、⑤地方で多彩な実演芸術に触れる機会の提供に基づき、5か年の中長期事業計画を策定し、それをもとに毎年度の事業計画を立案している。</p> <p>令和5年度助成申請時には年度計画全65プログラムの中から、公演事業（15プログラム）、普及啓発事業（2プログラム）に助成申請を行った。</p> <p>助成対象事業である公演事業（15プログラム）及び普及啓発事業（2プログラム）は、準備期間から本番まですべてのプログラムが計画通りのスケジュールで進行することができた。また、予算積算精度の向上により、各事業の収支面もほぼ計画通りの結果となった。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p> <p>① 文化的意義</p> <p>海外バレエやオーケストラなど三重県ではここでしか観ることのできないハイレベルな公演の鑑賞機会提供をはじめ、県民参加の「ヘンゼルとグレーテル スライドコンサート」や「老いのプレーパーク」など、鑑賞機会創出、人材養成、作品創造など文化的意義は極めて大きくかつ多角的に成果を生み出している。</p> <p>② 社会的意義</p> <p>音楽でまちを元気にするプロジェクト「新日本フィル29市町巡回事業」は、市町の教育・福祉・シティプロモーションと連携し、まちの活性化に寄与している。また、「なりかわり標本会議」ではコミュニケーションカードゲームを県内各地の教育現場や福祉現場で開催し、生きづらさ解消へのヒントやコミュニケーション能力の向上を図った取組であり、社会的意義は大きい。</p> <p>③ 経済的意義</p> <p>まちなかりーディングフェス「MPAD」は飲食店と連携したアウトリーチプログラムであり、商店街活性化や地域振興のイベントとして開催地域から期待されている。また、主催公演を主とした当館の目指す‘賑わいのある劇場づくり’によって、飲食店、交通機関、ホテルや観光業など地域経済への波及効果は極めて大きい。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

【公演事業】

目標①：自主企画公演の満足度向上

指標：自主制作・プロデュース公演 公演満足度（5段階評価上位2位）96.3%以上

実績：公演満足度96.7%（達成）

目標②：フランチャイズカンパニー定期公演の集客回復

指標：新日本フィル定期公演723人/1ステージ以上、青年団定期公演106人/1ステージ以上

実績：新日本フィル定期公演1,307人/1ステージ（達成）、青年団定期公演132人/1ステージ（達成）

目標③：海外作品公演、トップレベル公演、最先端演劇公演の集客回復

指標：令和5年度年間公演入場率71.7%以上

実績：61.0%（未達成）

目標④：老いと演劇事業 岡山市と共同制作し、全国発信

指標：なし

実績：NHK全国放送でのニュース取り上げをはじめ、地元新聞社、ステージナタリー等のWEB媒体やSNSで大きく取り上げられた。（達成）

【普及啓発事業】

目標①：市町共催社会包摂事業において、共催市町の評価を得る。

指標：参加者満足度90%以上、四日市市共催満足度100%以上

実績：参加者満足度98.0%（達成）、四日市市共催満足度100%（達成）

目標②：演劇ジャンルの社会包摂事業において、参加者満足度の向上

指標：参加者満足度90%以上

実績：参加者満足度92.6%（達成）

自主企画公演、フランチャイズカンパニー定期公演は高評価を得て集客も大きく回復している。一方で年間公演入場率は未達成に終わった。劇場プログラムへのコアファンが増えたが、ライトユーザーの戻りが弱いと分析している。

岡山と共同制作した「老いのプレーパーク」をはじめ、「新日本フィル29市町巡回事業」、「なりかわり標本会議」など、当館が取り組む社会課題と向き合うプログラムは先進性・独創性に富んでおり、事業参加者・関係者から高い評価を得ている。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

令和5年度事業計画17事業（助成対象事業）はコロナ禍の影響による中止は発生しなかった。また各事業の準備期間から本番まで大きなスケジュール変更はなく、計画通りの期間と開催日で事業を実施できた。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

令和5年度事業計画（助成対象事業）に対する実績は以下となった。

- ① 申請時総事業費 73,182,000円
- ② 実績総事業費 69,705,876円
- ③ 差額（①—②） 3,476,124円

申請時の計画総事業費と実績総事業費差額は、経費抑制により3百万円強実績が少なくなった。コロナ禍の影響による公演中止が発生しなかったことと、予算策定時の積算作業の精度が向上したことにより、事業費は適切にコントロールされている。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団の三重定期公演と29市町巡回事業、東京から三重に拠点移動しワールドワイドに活躍する準フランチャイズカンパニー・第七劇場の新作演劇公演など、当館と深い結びつきのあるカンパニーとプログラムや作品について創意工夫し、三重でしか観られない魅力ある公演やアウトリーチ事業を企画している。

また、芸術監督の役割を兼ね、任期23年超に及ぶ梶吉宏館長と音楽系のプロデューサーで、当館の看板事業となるシリーズの音楽公演を次々と立ち上げており、助成対象事業では「三重県文化会館セレクションシリーズ」「オンステージコンサートシリーズ」がこれにあたる。とりわけ「オンステージコンサートシリーズ」は全3公演が完売する人気を誇っている。

また、地元実演団体との協働によるオリジナルプロデュース公演にも力を入れており、「ヘンゼルとグレーテル スライドコンサート」は入場者数が1,325人と、手作りコンサートとしては驚異的な集客を記録している。

演劇分野では演劇プロデューサーを兼ねた松浦茂之副館長と演劇係で、全国的にも類をみない特色ある演劇公演に取り組んでおり、当館が制作幹事劇場を担い、伝説の作品を13年ぶりに復活させた「地域公共劇場連携事業『りすん』」をはじめ、三重と岡山2都市の老いのプレーパークで共同制作した「老いのプレーパーク岡山・三重2都市ツアー」、コミュニケーションカードゲームを県内各地の教育現場や福祉現場で開催し、ファシリテーター養成も兼ねた「なりかわり標本会議」、食事と朗読（演劇）を組み合わせた地域活性型のアウトリーチ公演「MPAD」など、地域演劇の振興を図る独創的で先駆的な公演を企画している。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

音楽分野の公演事業（助成対象事業）では、オリジナルプロデュース公演「ヘンゼルとグレーテル スライドコンサート」において、管弦楽/三重フィルハーモニー交響楽団と三重ジュニア管弦楽団、声楽/三重オペラ協会、合唱/津児童合唱団、絵本/鈴鹿市出身絵本作家：服部美法らとコラボし、作品創造・人材養成に同時に取り組んでいる。

音楽分野の普及啓発事業（助成対象事業）では、「新日本フィル29市町巡回事業」を四日市市で開催し、四日市市の文化行政・文化事業関係者に対し、音楽と教育・福祉・シティプロモーションとが連携したアウトリーチプログラムの成功体験を共有し、今後の四日市市の文化振興に対し有効な働きかけができた。

演劇分野ではアーティストや実演団体側と企画段階から密に協議を重ね、単なる公演鑑賞にとどまらない地域演劇活性化にもつながる演劇公演企画を次々に立ち上げている。

- 1) 「地域公共劇場連携事業『りすん』」では、演出家・天野天街（少年王者館）のワークショップを開催し、16名が受講したほか、出演者オーディションを実施し、52名の応募者から2名が出演するなど、作品創造とともに普及啓発や人材養成の側面を兼ねた公演企画となっている。
- 2) 「なりかわり標本会議」ではコミュニケーションカードゲームを県内各地に普及し、舞台版なりかわり標本会議のクリエイションにも挑戦するメンバー（ファシリテーター）を公募し、41名の応募者から18名がメンバーとなった。こちらも人材養成や社会課題と向き合うことに加え、作品創造も兼ねた事業になっている。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

当事業団は業界では数少ない ISO9000 の認証登録を受けている公益法人であり、組織と業務運営全般に P D C A サイクルに基づくマネジメントシステムが確立している。

1) 事業運営

主催事業はすべて顧客アンケート結果を評価・分析し、集客数（参加者数）や事業収支と合わせて総合評価を行い、次年度以降の事業計画においてスクラップ&ビルドを行っている。

2) 経営戦略

ISO9000 品質マネジメントシステムに基づき、中期経営計画及び年度事業計画を立案している。中期経営計画では 5 年間の経営ビジョンや目標を定め、中長期アクションプランに反映している。

3) 人事戦略

ISO9000 品質マネジメントシステムに基づき、全体研修計画・部門研修計画・OJT 研修計画を立案している。年度末には個人目標に対する達成状況を主に人事査定を実施し、次年度以降の研修計画に活かしている。

4) ネットワークの構築

事業連携や運営ノウハウの情報交換を目指し、幅広いネットワークを構築している。県内では公立文化施設協会の会長館として市町劇場と連携を図り、事業連携では劇場音楽堂等連絡協議会を主に、全国的に事業連携を図っている。